

1. 概 説

本資料は、平成12年4月から平成14年3月の間に高密度強震観測施設で記録された59地震766記録(2298成分)の一次処理結果をとりまとめたものである。一次処理の項目は、以下の通りである。

- 1) 地震諸元一覧
- 2) 最大加速度一覧(地域ごとに整理)
- 3) 最大加速度の分布(地震及び地区ごとに整理)
- 4) 加速度時刻歴波形(地震及び地区ごとに整理)

多数の地震記録を効率的に整理するため、各々の地震記録には地震番号、地区番号、観測所番号、感振器番号、成分種別といった属性を与えている。各属性の定義は、以下の通りである。地震名と地震番号の対応は「2. 地震諸元一覧」に、地区名・観測所名と地区番号・観測所番号・感振器番号の対応は「付録1 強震観測場」にそれぞれ示している。

- 1) 地震番号：気象庁の地震火山概況で発表された毎月の有感地震番号であり、1月～12月の発生順に数字を付与する。
なお2000年1月より有感地震番号は5桁とした。
- 2) 地区番号：地区の通し番号であり、地区ごとに2桁の数字を付与する。
- 3) 観測所番号：観測所の通し番号であり、地区内の観測所ごとに2桁の数字を付与する。
- 4) 感振器番号：感振器の通し番号であり、観測所に接続された感振器ごとに2桁の数字を付与する。
- 5) 成分種別：地震動の震動方向であり、水平2成分(NS及びEW)と鉛直1成分(UD)で表わす。

※表示例－ EQ-2000-01-00064 : 2000年1月24日福島県沖の地震
(2000年1月64番目の地震)
CA080401NS : 幕張・習志野地区(08)幕張本郷中学校(04)
GL-2m(01)、NS成分
(CAは高密度強震観測記録を表す)

なお地震記録の一次処理に際して、強震計の計器補正は行っていない。強震計の計器特性については、「付録2 観測システム及び観測装置」を参照されたい。